

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

令和 3 年 11 月 13 日公表

| チエック項目       |    | はい                                                                                                                           | いいえ | 工夫している点                                                                                                         | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標                                                          |
|--------------|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| 環境・体制整備      | 1  | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である                                                                                                    | ○   | 児童と放デイのスペースを分けて、密にならないよう机を配置、集中の妨げにならないようパーテーションやボードで仕切るなど工夫をしています。                                             | 今後も利用人数に応じて適切なスペースの確保に努めてまいります。                                                   |
|              | 2  | 職員の配置数は適切である                                                                                                                 | ○   | 法令で定められた職員数を配置しています。有資格者である保育士や PT が常駐しております。                                                                   | 今後も適切な人員を確保・配置してまいります。                                                            |
|              | 3  | 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている                                             | ○   | これまで車いすの利用者はおらず、完全なバリアフリー化はできていませんが、特性に合わせた視覚支援または、児童の移動の際には必ず職員が 1 名付き添うようにして安全を確保しております。                      | 事業所は賃貸のテナントであるため、完全なバリアフリー化は難しいですが、今後も支援が必要な児童には職員が安全に留意しながら支援してまいります。            |
|              | 4  | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている                                                                          | ○   | 毎日の掃除、消毒の徹底及び、適宜空気の入替えを行うとともに空気清浄機の使用でクリーンな教室を保っています。また、職員はもちろんのこと児童へも手指の洗浄・消毒、マスク装着を徹底指導し、療育終了後には室内の除菌を行っています。 | 今後も事業所内の空間除菌・療育教材の消毒を徹底して、心地よい生活空間を保つよう努めてまいります。                                  |
| 業務改善         | 5  | 業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している                                                                                | ○   | 毎日の朝礼・昼礼及び毎月のリフレクション会議を通して全職員が課題や反省を共通理解し、目標の設定ならびに振り返りを行っています。                                                 | 今後も全職員が参加出来る会議を継続して行い、情報共有・目標共有を図ってまいります。                                         |
|              | 6  | 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている                                                                | ○   | アンケートを元に保護者様のご意見やご要望について掌握し、職員間での情報共有を行い、業務改善に繋げています。                                                           | 今後も保護者様のご意向を把握し業務改善に努めてまいります。                                                     |
|              | 7  | 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している                                   | ○   | 評価の結果は、COMPASS 発達支援センターの Web サイトにて公開しております。                                                                     | 今後も、毎年 Web 上で自己評価表の公開を行ってまいります。                                                   |
|              | 8  | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている                                                                                               | ○   | 現時点では第三者評価は実施できておりません。                                                                                          | 第三者からの評価受審については今後の検討課題として検討してまいります。                                               |
|              | 9  | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している                                                                                                  | ○   | 例年に続きコロナ禍のため、研修は行えず、COMPASS で作成された研修動画を中心に職員の資質向上を図っています。                                                       | コロナの状況を見ながら可能な研修に取り組み、職員のさらなる資質の向上を図ってまいります。                                      |
| 適切な支援の提供     | 10 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している                                                                       | ○   | 保護者様のご意向を基に保育園や幼稚園での様子について情報共有をしながら、児童の特性を把握し、課題に応じた計画を作成しています。                                                 | アセスメントを基に今後も保護者様のニーズに合わせ、児童の特性を把握し、適切に作成してまいります。                                  |
|              | 11 | 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している                                                                                   | ○   | 統一されたアセスメントツールを利用し、モニタリングで状況を把握し、保護者様のご意向を確認しています。                                                              | 今後もアセスメントツールを活用し保護者様のご意向を丁寧に確認し、状況の把握に努めてまいります。                                   |
|              | 12 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている | ○   | ガイドラインに沿った上で保護者様との面談を定期的に行い、現在の課題や支援内容を設定し、提示しています。                                                             | 今後も適切な支援内容が選択できるよう保護者様のご意向を尊重した取り組みを行ってまいります。                                     |
|              | 13 | 児童発達支援計画に沿った支援が行われている                                                                                                        | ○   | 職員間で支援計画を確認し、支援計画に沿った支援を行っています。                                                                                 | 今後も、支援計画に沿った支援が行われるように全職員で情報共有に努めてまいります。                                          |
|              | 14 | 活動プログラムの立案をチームで行っている                                                                                                         | ○   | 各職員それぞれからのアイデアや、意見を取り入れながら、プログラムの立案を行っています。                                                                     | 今後も、計画に沿った支援が行えるようにチームで立案を行ってまいります。                                               |
|              | 15 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している                                                                                                       | ○   | 学習を中心とした活動ですが、PT の導入や、季節の遊びや装飾を取り入れ、プログラムが固定しないよう工夫しています。                                                       | 今後も全職員で児童の発達や成長に適した活動プログラムづくりに努めてまいります。                                           |
|              | 16 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成している                                                                                  | ○   | 児童の特性に合わせた個別・集団活動を取り入れた計画を作成しています。                                                                              | 今後も児童の状況に応じて個別・集団のバランスのいい支援計画を作成してまいります。                                          |
|              | 17 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している                                                                               | ○   | 毎日の朝礼・昼礼で児童の支援状況を全職員確認し、支援内容・役割分担の確認をしています。                                                                     | 今後も朝礼・昼礼を徹底し全職員が共通理解して取り組むよう努めてまいります。                                             |
|              | 18 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している                                                                          | ○   | 支援終了後の打合せは、送迎などにより難しい場合があるため、翌朝の打合せで必ず周知徹底するようにしています。                                                           | 送迎等で参加出来なかった職員にも確実に情報共有出来るように報連相の徹底と、申し送りノートの活用などで情報共有を図っていきます。                   |
|              | 19 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている                                                                                         | ○   | 療育内容や、体調、気づき、課題について記録し、次の支援に繋げています。                                                                             | 今後も同様に記録を行い、今後の支援に繋げるよう情報共有と振り返りを継続していきます。                                        |
|              | 20 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している                                                                                        | ○   | 定期的にモニタリングを実施し、現状の把握を行い、必要に応じた計画の見直しをしています。                                                                     | 今後も、モニタリングによる現状の把握と計画の見直しを行ってまいります。                                               |
|              | 21 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している                                                                            | ○   | 担当者会議には、児童の状況を一番把握している職員と児発管が参加しています。                                                                           | 今後も継続してまいります。                                                                     |
| 関係機関や保護者との連携 | 22 | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている                                                                                        | ○   | 関係機関と連携を行い、情報を共有した上での支援を行っています。                                                                                 | 今後も継続して、関係機関との連携に努めてまいります。                                                        |
|              | 23 | （医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携し、支援を行っている                                                 | ○   | 現在医療的ケアが必要な児童は在籍していません。                                                                                         | 事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。 |
|              | 24 | （医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている                                                             | ○   | 現在医療的ケアが必要な児童は在籍していません。                                                                                         | 事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。 |
|              | 25 | 移行支援として、保育所や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている                                                                | ○   | 必要に応じて、幼稚園、保育園への電話連絡や訪問を行い、情報共有と相互理解に努めます。                                                                      | 今後も関係機関と連携して支援内容等の情報共有と相互理解をはかってまいります。                                            |
|              | 26 | 移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている                                                                            | ○   | 移行前後の先生と連絡を取り、幼稚園、保育園での状況を把握した上で情報共有に努め、相互理解を図っています。                                                            | 今後も保護者様のご意向を確認しながら関係機関と連携して情報共有と相互理解を図ってまいります。                                    |
|              | 27 | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている                                                                     | ○   | 新型コロナ感染の拡大により、専門機関との連携や研修の実施が出来ていません。                                                                           | 感染状況が落ち着いた際には積極的に取り組んでまいります。                                                      |
|              | 28 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある                                                                                     | ○   | 新型コロナ感染拡大防止のため、交流の機会を持つことが出来ていません。                                                                              | 感染状況が落ち着いた際には積極的に取り組んでまいります。                                                      |
|              | 29 | （自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している                                                                                      | ○   | 新型コロナ感染拡大の防止のため、参加出来ておりません。                                                                                     | 感染状況が落ち着いた際には積極的に参加してまいります。                                                       |
|              | 30 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている                                                                               | ○   | 連絡帳や送迎時に活動の様子をお伝えし、ご家庭や学校の様子等についてお話しいただき、児童の発達状況や課題について共通理解を図っています。                                             | 今後も保護者様との情報の共有に努め、共通理解に努めてまいります。                                                  |
|              | 31 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている                                                                   | ○   | 保護者様からのご相談に対して、必要に応じて面談・訪問を行い、助言できる体制を整えております。                                                                  | 今後も必要に応じて訪問・面談による支援を行っていきます。                                                      |
|              | 32 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている                                                                                                   | ○   | 契約時に丁寧な説明を行っており、ご質問にも随時対応しております。                                                                                | 今後も契約時のみならず、いつでも問い合わせが出来るよう丁寧な説明を継続してまいります。                                       |
|              | 33 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている                         | ○   | ガイドラインが示す内容と保護者様のご意向等を踏まえ、十分な説明とともに理解を得ています。                                                                    | 今後も、ご意向や児童の状況に応じて作成した支援計画について丁寧に説明に努めてまいります。                                      |
| 保護者への説明責任等   | 34 | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている                                                                                | ○   | ご相談については随時対応を心掛けています。やむを得ず身体拘束を行う場合、公式 Web サイトのブログや SNS で情報発信し、季節ごとのお便りを発行しております。                               | ご相談に応じて、丁寧な対応を提供できるように努めてまいります。                                                   |
|              | 35 | 父母会の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している                                                                                | ○   | 新型コロナ感染拡大防止のため、現在、開催出来ておりません。                                                                                   | 感染状況が落ち着いた際には開催したいと考えております。                                                       |
|              | 36 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している                                                   | ○   | 保護者様からの申し入れには適切に対応し、解決に向けて迅速・適切な対応が出来るよう整備に努めております。                                                             | ご意見に対しては今後も迅速な対応に努め、問題解決を図ってまいります。                                                |
|              | 37 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している                                                                             | ○   | 公式 Web サイトのブログや SNS で情報発信し、季節ごとのお便りを発行しております。                                                                   | これまでの情報発信に加え、お便りを月々に発行しさらなる情報発信に努めてまいります。                                         |
|              | 38 | 個人情報の取扱いに十分注意している                                                                                                            | ○   | 個人情報の取り扱いには全職員が慎重に行い、施錠した書庫にて管理しています。                                                                           | 今後も個人情報の管理には、細心の注意を払い、安心してご利用いただけるよう努めてまいります。                                     |
|              | 39 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている                                                                                         | ○   | 事業所全体で合理的配慮に取り組み、細やかな対応が行えるようにしています。                                                                            | 今後も状況に合わせた意思疎通に努め、保護者様のお悩みやご相談などへの助言がいつでも出来るようにしていきます。                            |
|              | 40 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている                                                                                          | ○   | 新型コロナ感染拡大防止の観点から、事業所への出入りを制限させていただいており、現在は出来ておりません。                                                             | 今後、感染状況が落ち着いた際には、保護者様のご意向を確認しながら、地域への働きかけを検討してまいります。                              |
|              | 41 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している                                                           | ○   | 各種マニュアルを作成し、いつでも確認できるように提示し周知徹底しています。また、発生を想定した訓練を適宜行っています。                                                     | 今後も保護者様への周知や定期的な訓練を継続してまいります。                                                     |
| 非常時等の対応      | 42 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている                                                                                           | ○   | 地震、火災、風水害、不審者等を想定した避難訓練を定期的に行っています。                                                                             | 避難訓練は年間計画を立てて実施し今後はその様子についても連絡帳やお便りにてお知らせしていきます。                                  |
|              | 43 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している                                                                                            | ○   | 保護者様に十分に確認を行い、全職員が把握しています。                                                                                      | 引き続き、保護者様からの情報提供をもとに、児童の状況把握に努めてまいります。                                            |
|              | 44 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている                                                                                         | ○   | 当事業所で飲食物の提供はしておりませんが、契約時に保護者様より十分に聞き取りを行いアセスメントシートへ詳細を記入頂き、職員一同で情報の共有と認識一致に努めています。                              | 今後も事業所での飲食物の提供予定はありませんが、イベント等で食物の提供を行う際には保護者様に告知し、了承を得ることといたします。                  |
|              | 45 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している                                                                                                    | ○   | ヒヤリハットは都度報告書に記録し、全職員で閲覧し、必要に応じて状況説明を行い、再発防止について話し合いを行っています。                                                     | 今後もヒヤリハット報告書を全職員で回覧・確認し、再発防止への啓発に努めます。                                            |
|              | 46 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている                                                                                           | ○   | コロナ禍のため、外部研修は参加出来ておりません。今後の状況により研修を受講して、職員間の情報共有に努めます。                                                          | 今後も事業所内で出来る研修等を行い、虐待防止に努めてまいります。                                                  |
|              | 47 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している                                                   | ○   | 利用契約書に身体拘束の禁止を記載しており、生命又は身体を保護するために、やむを得ず身体拘束を行う場合は、予め書面により保護者様の同意を得ることとしております。                                 | 今後も利用児童や保護者様にはわかりやすい説明を行い、了解を得たうえで計画に記載してまいります。                                   |

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。